

一生に一度の「はたちの集い」の集い。これまでお世話になった人々たちへの感謝と未来への希望を胸に、参加者はこれまでの経験を糧に新たな一歩を踏み出した。二十歳を迎えられた皆さん、おめでとうございます！

式典では来賓からの祝辞や、代表者による「はたちの主張」、「謝辞」が述べられ、参加者は真剣な表情で聞き入っていました。記念行事はダンスチーム「ハッピースタイル」によるお祝いパフォーマンスで幕を開けました。また、小中学校時代の恩師からのお祝いの言葉では、懐かしい恩師の姿に、友人と顔を見合わせて楽しそうに聞き入る様子が見られました。

華やかな晴れ着や袴、スーツに身を包んだ参加者たちは、会場に着くと懐かしい顔を見つけては歓声を上げ、一緒に写真撮って再会のひとときを楽しみました。

いいね、川根本町！



令和8年 はたちの集い

1月11(日)、文化会館で「はたちの集い」が執り行われました。対象者43人中36人が出席し、未来への希望を胸に新たな道を歩き出しました。



一人一人名前を呼ばれスクリーンに映し出された



式典開始前の様子



ダンスチーム「ハッピースタイル」によるパフォーマンス



恩師からお祝いの言葉



久しぶりの再会を喜ぶ参加者



メッセージボード記入



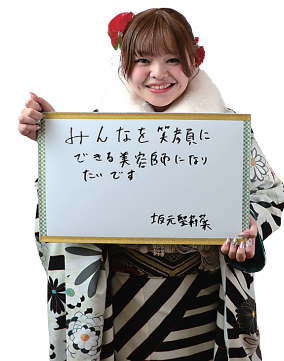
看板の前で記念撮影



参加者と町長で記念撮影

幼い頃に美容院でかわいらしく髪を切ってもらってから美容師になりたいと思いました。

私もたくさんの人を笑顔にする美容師になりたいです。



坂元 聖莉菜 さん(藤川区)

専門学校に通っており、4月から撮影関係の会社へ就職します。

子どもや家族が笑顔になれる写真を撮れるよう頑張ります。



芹澤 佳歩 さん(小長井区)

大学で保健室の先生になるための専門知識を学んでいます。

いつかは川根本町で働きたいと思っているので、夢に向かって頑張ります！



白澤 佳奈 さん(上長尾区)

専門学校に通っており、4月からホテルで働きます。

一人前のシェフになってたくさんの人を笑顔にできるように、精いっぱい修行に励みます！

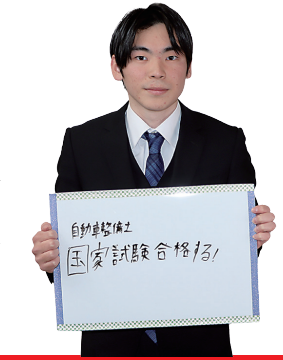


鈴木 桂太 さん(田野口区)

はたちの集いに参加した5人の方に、将来の夢や目標に向けて何をしているかインタビューしました。皆さんはそれぞれ明確なビジョンを持ち、「今」取り組むべきことを真剣に考えている姿が印象的でした。

4月から自動車工場で働きます。

現在は、仕事で必要となる自動車整備士の国家試験に向けて一生懸命勉強に取り組んでいます。



竹内 清之輔 さん(梅高区)

はたちの集い参加者に聞く
今の目標とこれからの一歩



先輩方、おめでとうございます！



運営ボランティアを務めた三ツ星学園の生徒の皆さん



式 辞

本 日、晴れて二十歳を迎えられた皆さま、誠におめでとうございます。本日、二十歳という大きな節目を迎えられ、本会を一つの出発点として責任や自立を意識しながら「大人」としての歩みを進めていくことでしょう。皆さまの中には、すでに社会の一員として活躍されている方や、勉学に励んでおられる方などさまざまな立場の方がいらっしゃると思いますが、いずれの方も将来への夢や希望、新たな決意に胸を膨らませていることと存じます。

現 在、少子高齢化や自然災害、国際情勢など、社会のあらゆる面が私たちの生活に大きな影響を与え、人々の価値観も目まぐるしく変化している状況にあります。皆さまがこれから歩む道は決して平坦で

はなく、時には厳しい現実に立ち向かわなければならぬ場面もあるでしょう。しかし、どのような状況においても失敗を恐れず、目標に向かって進み続けていただきたいと思います。願っております。

川 根本町は、令和7年9月に合併二十周年を迎えました。二十周年という節目を経て、未来に向けてさらなる発展を目指し、皆さま一人一人がふるさと川根本町を誇りに思っていたけるよう尽力してまいります。

はたちの主張

私 は高校卒業までの18年間、家族をはじめ先生方や地域の皆さまに見守られながら、ここまで成長することができました。幼稚園から高校までお世話になった先生方、公営塾の先生方、そして県外学習やカナダ研修などでお世話になった役場の皆さまのおかげで、私は川根本町で学びを深め、自分の道を歩むことができています。

振 り返ると、多くの出会いと支えがあつて今の私があると感じます。私のそばには、いつも家族や友人がいました。祖父母は厳しくも温かく、たくさん愛情を注いでくれましたが、当時はその優しさを当たり前に思い、迷惑をかけてしまうこともありました。慣れ親しんだ環境を離れた今、その存在の大きさに改めて気付きました。どんな時でも変わらず支えてくれた祖父母に心から感謝しています。そして、それぞれの立場から私の成長を見守り、応援してくれた父と母にも、感謝の気持ちでいっぱいです。

ま た、卒業後も話を聞いてくれたり、気にかけて食事に誘ってくれたりする友人たちの存在は、遠く離れていても大きな支えです。

私 たちは二十歳を迎え、もうすでに就職し働いている者や学業に励んでいる者など立場は様々ですが、それぞれがこの川根本町で過ごしたことを誇りに前へ進んでいます。

私 は川根本町で生まれ、中学卒業までこの町で過ごしました。町外で過ごしていく中で感じた川根本町の良さは数多くありますが、その中でも特に感じるのは地域の皆さまの温かさです。登下校で、あいさつをするとき必ず「おはよう、頑張つてね」や「おかえり」と返してくれます。地域の皆さまから受けた心の温かさや豊かな自然のなかで育ったことが今の自分に大きく影響しております。

現 在、私は大学にて救急救命士を志し、実際の現場を知る先

一生の友人がいることは私の誇りです。

現 在、私は看護師を目指して専門門学校で学んでいます。専門知識や実践的な技術など覚えることが多く、今年の4月からは約半年間の実習が始まります。これからは支えられる立場から、支える立場になります。一人でも多くの人が自分らしく暮らせるように学びを深めていきます。そして、いつか川根本町に恩返しができる看護師になりたいと考えています。今日この場に立っている私は、決して一人でここまで来たのではないと改めて感じています。

以 前、高校在学中にお世話になった先生から「あなたらしい笑顔で」とメッセージをいただいたことがあります。忙しい時やつらい時は難しく感じることもありましたが、それでも笑顔には人の心を温め、幸せを生む力があると思っています。今日この日を一緒に迎えた同級生のみならず、笑顔で支え合っているながら、それぞれの道を歩んでいけたらうれしいです。

こ れまで私に関わってくださった方への感謝を胸に、大人としての自覚と責任を持ち、一歩ずつ前に進んでいきます。

鳥澤 圭佑さん
(柳三区)



謝 辞

生方のもと、専門的な知識と技術の習得に励んでおります。人の命に関わる学びは厳しく、実習中は常に緊張感をもって臨んでいます。しかし、その学びの中で自らの未熟さを知り、同時に命の尊さや、人と人が支え合うことの大切さを強く実感しております。未来に救える命を一つでも増やせるように、これからより努力を重ねて参ります。

晴 れて二十歳という大きな節目を迎えることができたのは、地域の方々をはじめ、先生方、家族や友人など今まで関わってくださった皆さまのお力添えがあつてこそのもです。これからはお世話になった皆さまへの感謝の気持ちを忘れずに、社会に貢献できるよう努めて参ります。

お祝いのことば
三ツ星学園8年
八木 彩伽さん



お祝いのことば
光の森学園6年
川口 好実さん



お祝いのことば
川根高校3年
望月 はなさん



記念品授与
高畑 葵さん
(上長尾区)

